

太宰府市まちづくり市民会議幹事会

平成24年6月6日(水) 19:00～

於 市役所4階403会議室

出席者：原田・大藤・中島・大森・乙木・笠利・古賀・平嶋・船越・前田・御笹・山崎・吉田

欠席者：

1. 開会

2. 第5回まちづくり市民会議の集約および第6回のテーマについて

3. 市民会議ニュースのチェック

4. その他

次回幹事会 平成24年6月13日(水) 19時～ 403会議室

「市(市民、行政、議会)における課題や不満等」のまとめ

行政

- ・ 行政の体質・職員の質
- ・ 情報の共有・提供
- ・ 市民参加の仕組み
- ・ その他（行政）

・ 太宰府は中心がない

・ 高齢化

・ 無関心

・ 災害時対応の体制

議会

- ・ 議員の体質・議員の質
- ・ 情報の提供
- ・ 議会運営

市民

- ・ 無関心
- ・ 自治会（コミュニティ）
- ・ ボランティア
- ・ その他（市民）

	1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班	9 班	10 班	
行政	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催に際しての配慮がたりない 行政の縦割り 	<ul style="list-style-type: none"> リアルタイムな情報の共有が弱い（HP?） 	<ul style="list-style-type: none"> 昔から思っているが市役所の体質が古いと思う 市役所の体質（なかなか動かない） 市がなかなか動かない 市役所は声の大きい人の言うことはうるさいから聞いてくれる 	<ul style="list-style-type: none"> 協働と唱える割に、お上意識が抜けない。例：総合計画に市民参加させたが、その評価は行政、内部のみ。何が市民参画、情報公開か！！ 市役所が自分達の事を「天の声、神の声、態度」 上方からの目線・一般常識欠ける・人数が多いのでは？コンピュータが各テーブルにあるのに・対応遅い・たらい回し・市民が行ってもダメで、市議員を連れて行くとならずにOK 市役所の縦割り行政 	<ul style="list-style-type: none"> 行政のあり方 欺まん、怠慢、ズサン 行政は縦割りで、横のつながりが無い「行政組織」 行政（執行部及び職員）は市民に目を向けて、全体の奉仕者として公共の利益のために職務を行っているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 縦割りな行政 	<ul style="list-style-type: none"> 協働の声は高いが、市民に協働を強いるのみ。お上意識強い。（例）総合計画策定では市民参画あるも、総合段階では行政内部で行い、市民は除外 	<ul style="list-style-type: none"> 行政も地域も横のつながりが少ない→どこの都市でも起きていること 		<ul style="list-style-type: none"> 縦割り行政の弊害 	行政の体質
		<ul style="list-style-type: none"> 行政の職員が少ない？多い？ 		<ul style="list-style-type: none"> 少人数で多量の仕事、住民を交えて考えてコーディネートできる行政マンが必要ではないか。 職員も疲労している→ガンバレ→ゼネラリスト→人材の節約 	<ul style="list-style-type: none"> 行政の担当者の責任の所在はどの程度か解らない 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が勉強不足 職員が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 行政の人はもっと自分の課の仕事について勉強してほしい いきなり配属され、勉強が足りてない 	<ul style="list-style-type: none"> 市の職員の勉強不足（人事異動） 		<ul style="list-style-type: none"> 行政担当者の責任所在 	職員の質・量
	<ul style="list-style-type: none"> 行政の説明がわかりづらい 情報の調整 	<ul style="list-style-type: none"> 行政事務の行動が遅い＝経過報告→解決に至っていない 行政の説明が少ない（例）太宰府館建設、今回のスポーツセンターいずれも突然出てきた話 市広報の内容がよくない 行政の説明が分かりにくい。資質向上 	<ul style="list-style-type: none"> （職員、議員）勉強不足 HP、広報、広聴 職員が納得できる回答ない→勉強不足 	<ul style="list-style-type: none"> PR不足 情報の共有と説明責任がない 	<ul style="list-style-type: none"> 行政情報の不透明（情報の公開がない、共有）HP、広報 （行政に対して）どんな「まちづくり」をしようとしているのか説明がない 「協働」を答えられない。職員によってバラバラ 	<ul style="list-style-type: none"> 市の情報がみえにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供できてない、下手 		<ul style="list-style-type: none"> 市長に直接提言（手紙）3回。これまで何の音沙汰もなし。（4年間で）最新は昨年12月観光行政について積極的な案(USBに入れた事も) 電磁波問題（市長の説明不足） 	<ul style="list-style-type: none"> 行政の情報が市民にオープンでない。 景観行政、市の情報公開がなされていない 	情報の提供

1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班	9 班	10 班	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有がなされていない ・情報を共有していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政はまず市民の声を聴くこと ・情報公開（透明性）の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒教育ちゃんとやっている？接客がなくなってない。窓口がよくわかっていない。常識がない ・市役所はすぐに「自治会に聞いてくれ、言ってくれ」と言う ・もっと聞いて欲しい。感情が入ると聞いてもらえない ・公報と HP（使えない人もいる！聞く場がない「自治会に言ってくれ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の窓口対応が悪すぎ→不信を増長していないか。 ・電話しても名乗らない職員→言ったこと、書き残したことに明確な責任とる→市長も評価を ・「自治会長さんに相談しましたか？」が行政の第一声でいいのか。 ・広報、公聴の欠落→まちづくりの方針が載っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口に行くと「自治会」に話をしてから、提案来てくれと言う職員不思議です ・「役所の窓口」(窓口)の対応、対応が悪い、お互い(役所と市民)が不信 →何でも「自治会長」を通してという職員(窓口) ・市政情報の公開と共有ができていない ・情報の共有と説明責任がない ・情報公開と公聴制度の充実が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が市民の話をきいてくれない 			<ul style="list-style-type: none"> ・市職員の対応。電話で自分の指名を名乗らない人がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の窓口対応が悪い ・職員の態度、もう少し柔らかく ・行政は独善的である 	<p>情報の共有</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画の委員公募を半分以上とする ・公聴のルールづくり ・審議会 市民の声を反映するルールが出来ていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期計画を立てる時公募が少ない。公募がない。→市民の参加を委員の半分まで拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政に対し行政からの提出期限は指定されたが当方からの申請に対する返事期限が示されない 	<ul style="list-style-type: none"> ・声を聞く場、広報が少ない。報告会を義務化。 ・市民からの申請への返答期限がない。市民へは期限はあるが。→どう対応すべきかのルールがない。 ・不満を解決する運動の場がもっと必要だ ・審議会も同じ顔では市民参加とはいえない ・市民参加でつくったものは市民の評価を受けねばならない ・市の要望の「駆け込み寺」が必要だ。常設の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加(参画)ができていない ・市民からの「広聴がない」。市民への「広報がない」全くない ・市民と行政が協力する場がないので、行政の考え、方針が市民には伝わらない。また、市民の要望が行政に伝わらない。市民の市政に対する無関心さが、行政任せを加速している。 ・住民提案制度の制定 ・附属機関の委員等の市民公募のあり方の見直し ・審議会委員の公募市民以外の選任のあり方の見直し ・審議会の答申と決定(上程案)のあり方の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の人選にかたより ・審議会の答申が尊重されていない 		<ul style="list-style-type: none"> ・委員会が機能していない ・市民の駆け込み寺、グチを言う場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自治基本条例」を制定する市行政の姿勢が明確でなかった。今日の説明でも？ ・区長制から自治会制の移行で全く市民の意見を聞かず行政主導でやってしまった ・市民の声が市に届いて来ない⇔市行政の考えがわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・監査が機能していない ・各種審議会の委員選考不明確 	<p>市民参加の仕組み</p>

1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班	9 班	10 班	
				<ul style="list-style-type: none"> ・市民意見反映(パブリックコメント、パブリックインボルグメント)、市民政策提案制度等の見直し 						
<ul style="list-style-type: none"> ・働く場（工場）を建てて欲しい ・地域包括支援センター365日24時間体制をつくる ・国、県の補助金、助成金、交付金を使う事も考えて ・市役所に直接ものが言えない ・点から面へ・ホテルまで「まほろば号」を ・地域かく差 ・災害時避難場所に行けない ・建てたものを育てるべき（ホテルの例）→町づくり ・苦情処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所が欲しい ・保育所がたりない ・地域包括支援センターが夜間、休日閉館されている→市民が困っている 365日24時間制にすべし ・行政の行動は、顔が見えるように ・まちに中心市街地の位置づけが（開発による周辺の団地化） 	<ul style="list-style-type: none"> ・太宰府市は働く場ない。企業を育てる力がない ・働く場所がない ・中学校の校区(学校の場所) ・太宰府市、太宰府東中はとても近く学業院は少し離れているだけ。太宰府西は3つとはずいぶん離れている。これでいいか？ ・3:1のような地域になっている ・小学保育学童が4年までしかない。6年までできないのか ・行政と市民の関わり、ふれあい悪化 ・太宰府市は「支援する」と言う積極的に動け！ ・他市と比べて遅れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長が決断すればいいのに。しない市長が悪い。 →市民の声を無視しても平然←市長もこれに安住している ・働き場所が少ない。子どもがいらない。町中に老人、子どもしか残っていない。 ・高学年までの学童保育 ・少子化、高齢化対策が急務。 ・ハコ物行政より福祉中心の財政計画 ・都市計画、防災対策→責任取らなくていいから、計画も作れないのではないのか。 ・そもそも「何をしているのか」でさえも、わからない。 ・歩いて市役所に来るのもリハビリだ→障害者（に限らないが）市民を育てるねばり強さがない ・区：命令を実行するだけだった 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長が決断すれば変わる（市長が悪い） ・産業がなく、地元で働くところがない。天満宮への参拝客や国博の見学者は市の税収にはならない。経済は市内で地産地消の体勢を構築する必要がある ・将来に繋がる施策と展望が無い。ソフト産業や自然エネルギー産業等の拠点の構築が必要 ・地域包括支援センターを始めとする地域福祉政策の全面見直し ・財務公表が明らかでない ・セクト主義 ・今までやってきていると言われる。「協働のまちづくり」は何の事業をしているのか。仕組みも、やり方も不明 ・市職員の職務評価や人事制度は正当に、適正に行われているか？ ・市職員の職務に対する意見等は公平にとりあげられて、行政に活かされているか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長のワンマンさ（自治会制、電磁波） ・大きな会社がない ・財政難 ・総合体育館建設に疑問あり ・道が整備されていない ・1行政1自治会は問題 ・きれいな町づくり、道の整備が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の多い事について行政の方はどのように考えているのか？ ・小学校の空き教室を利用 ・人口減少時代にまちの特徴として子育てが ・市職員は退職後地元でのボランティア活動が少ない(民生委員、自治会長、等) ・校区自治協議会の事務局となるセンターがない ・大野城市は進んでいる ・大野城市は市長が変わって変わった 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所不足、費用が高い(私立) ・やっていることに対して行政が支援していくこともある。まずはやってみることが大事。 ・もっと行政に協力してもらえたらうれしいなあ →NPO活動をすすめるのに行政頼りもあんまりよくないなあとも思っている →自立したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長が独断的 ・太宰府市は活気がない！天満宮の参道沿いだけが賑やか。企業誘致が大切。仕事がない ・働く場がない ・学童保育（4年生まで）他市では6年までのところもある ・障害者、行政が活性化しない。システムがなく地域づくりができない。財政不足を理由に話が先に進まない ・予算がないと言われる ・行政が遅れている ・本市は何についても条例化が遅れている（市民も行政も悪い） ・JR太宰府駅は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長が専断的（電波条例） ・福祉行政の充実 ・将来計画を具体的に、特に老人福祉、老人に仕事を →地域通貨を ・財政の健全化を考えよ ・税金の使途が明らかでない ・自治基本条例の役割がまだ不明確／／市民の声が届かない ・箱モノ行政にこだわりすぎ ・計画行政の徹底 ・都市計画のお粗末 ・JR太宰府駅は要らない ・森林保全はほったらかし（外観重視） ・防災対策が不十分（災害時の避難方法） ・防災倉庫が1箇所しかない ・大きな災害がこの10年間、いくつも起こったのに、市の最高機関である防災会議は平成13年以来、地域防災計画に何の改善策も載せていない。 ・観光中心で市民に目を向けていない 	<p>その他（行政）</p>

1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班	9 班	10 班	
				<ul style="list-style-type: none"> ・観光優先の市政で、住民の生活（安全・安心）は二の次になっていないか？ ・地元大学との地域連携の見直し。（太宰府キャンパスネットワーク会議とは異なる連携）大学を活用したまちづくりがなされていない ・公益通報制度の制定 ・政治論理条例の制定 						

	1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班	9 班	10 班	
議会	<ul style="list-style-type: none"> ・議会が市民の方を向いてない 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会は市民の意見をすくいあげて聴こうとすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員が個人の御用ききになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来展望の具体的なイメージをもって描く（高齢者福祉、居住環境等） →議員がこれ（イメージ）を持っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員は大いに議論すべきである。まだ議論・検討が不十分 ・議会討論が熱心でない 		<ul style="list-style-type: none"> ・議員が意見を交える場がない ・行政と議会は慣れ合いでは？ 			<ul style="list-style-type: none"> ・議員が単に地元代表と化している ・議会がセレモニー化している 	議会の体質
	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の質問の仕方へたくそ追及してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数の見直し（18名は多すぎる） 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員さんが勉強していない ・議員、行政の勉強不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの不満、議会の意志がない。夜に開いても。不勉強、不熱心、競争がない。資質向上策を ・自分達でやろうという委員会にかけていたりきたりしての経過の公開（議会も）、葛藤があるくらいでない、議会にならない 		<ul style="list-style-type: none"> ・議員の勉強不足 ・議員の質疑に問題がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員は命かけない ・議会は意思があるのか ・議員が結果として何もやってない ・市民が選んだ議員 ・一部の人を除いて勉強が足りてない（こんな人が議員かと思うと情けない） ・意見は言わないで反対、賛成だけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員が議員として仕事をしていない→勉強不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会議等に関心がない ・議員によって、質問しないで報酬をもらっている。定数を減らしても意味がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員が不熱心 ・議員のレベル低すぎ ・議員は自治基本条例に何の関心もないのではないか。こんな議会に議会改革など出来るはずがない 	議員の質・量
		<ul style="list-style-type: none"> ・議員の賛否が全く不明（本当に意見はあるのか） 			<ul style="list-style-type: none"> ・市民に対して、議会としての議会（定例会）報告が行われていない ・市民への「報告」がない。「広聴」「広報」もない（HP 持っている議員が3名） ・報告、共有がない（勉強不足、行政との慣れ合い等） ・議会運営状態の明確化（情報の提供） 		<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ意見はある。透明性が大事 ・議員としての仕事をどれだけの議員さんがしているのか ・活動報告を義務化 ・議員の賛否が全く不明 ・議員の賛否だけでも公開しなければ ・自分が選んだ議員がどういう活動をしているか知りたい 			情報の提供	
	<ul style="list-style-type: none"> ・反問権が必要（議会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会の議論が休憩中に行われ大事な事が決まっている ・政務調査費は廃止すべき ・反問権をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会反問権必要 		<ul style="list-style-type: none"> ・議会事務局は行政から独立すべきである。市の職員ではなく、独立した組織として採用すべき ・議会（議員）は 					<ul style="list-style-type: none"> ・議会を夜、休日開催せよ 	議会運営

1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班	9 班	10 班	
	議員の資質向上、議論の透明化			二元代表制の機能が果たされていない ・政務調査費は会派ではなく、議員個人に支給すべきではないか。市民は会派で投票してはいない。旧来のしきたりや慣習は止めるべき						

	1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班	9 班	10 班		
市民	<ul style="list-style-type: none"> 市民の無感心→行政の無作為 共通認識 自分たちがやっていることしか関心ない 	<ul style="list-style-type: none"> 市民はあいさつが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の無関心(3) 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決しよう、何かをつくりだそうという力がない。 市民意識の低さも関係していよう 市民のまちづくり関心が低い 情報共有が要。市民の無関心、行政の無作為 投票率も低下 	<ul style="list-style-type: none"> 自己中心的で言葉だけ。行動力（協力）がない 	<ul style="list-style-type: none"> 市政に対して意識が低い 市民参加が不十分（行政も市民も） 市民の意識が他の市に比べて低い 市民の協力が多くなった（行政職員の声） 	<ul style="list-style-type: none"> 市民、無関心。知ろうとしているのか 「なぜ自治会に入らないか」という市民 意思を出すのに、自分の立場からのもので、全体的視野に欠ける 		<ul style="list-style-type: none"> 市民が行政に無関心 聞く耳を持たない市民が多い→不満、怒り、収入少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 市民は市政に無関心である 責任感がない、自発性がない、横のつながりうすい！自治会長ファイト 市民は自己中心主義（自分さえよければ良い） 	無関心	
	<ul style="list-style-type: none"> 自治会と行政は、双方向になってない 全戸配布の印刷物が届かない（災害マップ） 		<ul style="list-style-type: none"> 自治会の跡取りが（あとがま）がない 若い人が自治会に理解がない「なぜ参加しないといけないのか？」わかっていない 	<ul style="list-style-type: none"> 自分達で新しい組織づくり、万が一の時にどうするか計画をつくった でも下にみている人もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民自治と自治会制度（1 行政区 1 自治会）のあり方の見直し 自治会は任意団体であり、行政の一つの組織（部門）ではない。現在の「太宰府市区自治会等の設置に関する規則」は削除すべきである 各行政区（区民）は自治会の制度を十分理解しているのか？行政は自治会制度の導入にあたっては、勿論、その後も十分説明を行い、市民の理解に努めたか？ 			<ul style="list-style-type: none"> NPO 活動を通じてコミュニティのつながりをつくっていききたい 		<ul style="list-style-type: none"> 自治会の行政に対する下請け化 	自治会（コミュニティ）	
			<ul style="list-style-type: none"> 退職した後のボランティアが少ない。自治会の役員にもならない 	<ul style="list-style-type: none"> 退職職員のボランティア活動がない 					<ul style="list-style-type: none"> 市民の理解ももう少し欲しい→ボランティアとの違い 自分がやりたいと思ってやるもの、やらされるものではない 			ボランティア
		<ul style="list-style-type: none"> 市民のモラルがなってない ゴミ（犬のフン）問題 休み（ゴミ出しについて）の時 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報のため電話番号がきけず、緊急対応に困る 	<ul style="list-style-type: none"> 太宰府は市外から活動しにくる人が多い。→市内の人が動き出すしくみ。 話しあえる場が 			<ul style="list-style-type: none"> ゴミ出し、犬のフン、などマナーが悪い 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の行動に責任を持つべき ご近所付き合いが少なくなっている。ご近所さんで助けあえれば 	<ul style="list-style-type: none"> 市民のモラルが低い（犬のフン、ゴミ） 	その他（市民）	

	1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班	7 班	8 班	9 班	10 班	
		<p>の情報を！広報と隣組回覧不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の不満や課題に感じることを伝え、改善できる手法は あいさつ続けること、知り合うこと→防犯、福祉へつながる 		<p>ほしい。→あるんじゃないの？つくれば？なぜ自分で動き出さない？</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会に代わって主体的な活動が生まれてきた→素晴らしい！融通がきく。 町中でもっと議論してよい町をつくろう 太宰府の地の人、太宰府で積極的に「再発見」しようと思えるように 市民のマナーも悪い 不満、課題（・・・ない、・・・してほしい）→解決する力、創出する力がないのが問題ではないか？→自分達から動く、失われた地域の力を取り戻せないか。 				<p>解決することもあるのに。</p> <ul style="list-style-type: none"> 求めているけれど自分から動き出そうとしない 見ているだけでは分からない。話してみることが分かることがいっぱいある 自分のことばかり考えている。できることはしなくちゃ。 実は前向きに主体的に動いていることはたくさんある。その話をする場がない。刺激を受ける場があれば、もっと動き出す。課題、不満を解決する力、何かをつくりだす力を育てたい！ 視野が狭い 不満を言うだけではなく、その不満を解決する話、活動を 市民のマナー 市民の年功序列 			
<p>2 者、もしくは 3 者に通ずるもの等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 太宰府にはセンター（中心）がない へそがない 高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に対して不十分である。組長の高齢化対策 子どもに明るい未来を ※福祉に光を 高齢社会の進展（筑紫地区で高齢化率もっとも高い S 40～50 年代に人口急増） 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の対応。誰が誰を助けるのか？ブロック決めた。9 月は避難訓練する予定 	<ul style="list-style-type: none"> 地域通貨→お金が落ちる、人が動く 肘つき合わせて話す場がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> なかなかスクラップできない 他人任せになり勝ち 公園清掃について 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化 	<ul style="list-style-type: none"> 行政、議会、市民とも意識が高いのはごく一部の人間 	<ul style="list-style-type: none"> 「協働」・・・企業は？ 問題の共通認識 縦のつながりと横のつながり 無関心 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が住み良くなっていない 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化 太宰府には中心がない 無関心 災害時対応の体制 	